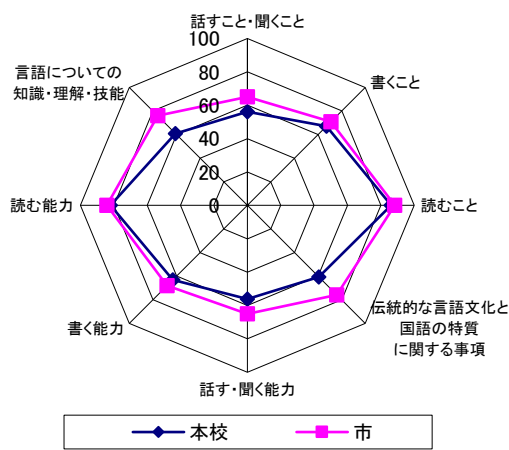


宇都宮市立上河内東小学校 第6学年【国語】領域別／観点別正答率

★本年度の市と本校の状況

|     |                      | 本年度  |      |      |
|-----|----------------------|------|------|------|
|     |                      | 本校   | 市    | 参考値  |
| 領域別 | 話すこと・聞くこと            | 56.1 | 65.0 | 62.9 |
|     | 書くこと                 | 66.9 | 70.9 | 71.3 |
|     | 読むこと                 | 86.2 | 88.4 | 87.2 |
|     | 伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項 | 60.6 | 75.8 | 75.3 |
|     |                      |      |      |      |
| 観点別 | 話す・聞く能力              | 56.1 | 65.0 | 62.9 |
|     | 書く能力                 | 63.2 | 68.0 | 68.0 |
|     | 読む能力                 | 82.0 | 84.2 | 82.8 |
|     | 言語についての知識・理解・技能      | 60.9 | 75.9 | 75.6 |

※参考値は、他自治体において同じ設問による調査を実施した際の正答率。



★指導の工夫と改善

○良好な状況が見られるもの ●課題が見られるもの

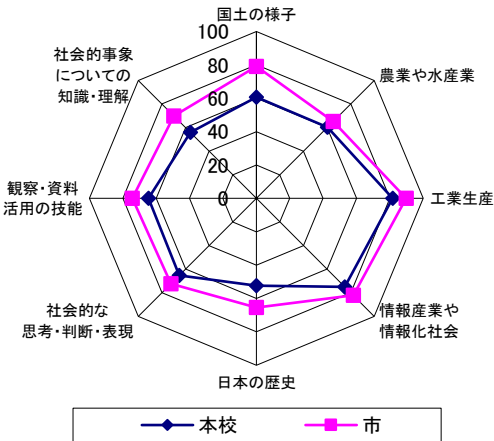
| 領域                   | 本年度の状況                                                                                                                                                  | 今後の指導の重点                                                                                    |
|----------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------|
| 話すこと・聞くこと            | ●話し手の意図を考えながら、話合いの内容を聞き取る問題では、正答率が80%で、市平均を4ポイント下回った。                                                                                                   | ・話の内容を大まかに捉えて、大事なことを正確に聞き取ることができるようにするため、聞き取ったことを要約させるなどの指導をしていきたい。                         |
| 書くこと                 | ○資料の内容を読み取って、文章に書き表す内容を理解することができるかに対する正答率が63.3%と市平均を5ポイント上回った。<br>●資料の内容を読み取って、文章に適切に書き表すことができるかに対する正答率が、41.7%で、市平均を9.7ポイント下回った。                        | ・情報を読み取り、その内容を文章に表現する力をはぐくむために資料を活用して書く活動を積極的に取り入れていきたい。                                    |
| 読むこと                 | ○物語の内容を読み取る問題で、目的や必要に応じて、場面の描写と登場人物の心情を読み取ることができるかに対する正答率が、90%と市平均を2.5ポイント上回った。<br>●説明文の内容を読み取る問題で、文章の内容を的確に読み取ることができるかに対する正答率が、83.3%で、市平均を7.5ポイント下回った。 | ・説明文では、読み取り方のポイントを指導するとともに文章同士のつながりや段落相互の関係を解説したり、指導したりして、文章構成をとらえさせ、読解力の向上につながるよう指導の充実を図る。 |
| 伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項 | ○6学年配当漢字を読むことができるかに対する正答率が、96.7%と市平均を3.3ポイント上回った。<br>●文の構成(述語)について理解しているかに対する正答率が36.7%と市平均を16.5ポイント下回った。                                                | ・主語や述語など文法について理解を深めるために、ステップアップシートを活用した復習を取り入れていきたい。                                        |
|                      |                                                                                                                                                         |                                                                                             |
|                      |                                                                                                                                                         |                                                                                             |

宇都宮市立上河内東小学校 第6学年【社会】領域別／観点別正答率

★本年度の市と本校の状況

|     |                 | 本年度  |      |      |
|-----|-----------------|------|------|------|
|     |                 | 本校   | 市    | 参考値  |
| 領域別 | 国土の様子           | 60.7 | 79.1 | 74.9 |
|     | 農業や水産業          | 60.4 | 65.1 | 63.7 |
|     | 工業生産            | 81.7 | 89.7 | 86.2 |
|     | 情報産業や情報化社会      | 75.0 | 82.2 | 73.1 |
|     | 日本の歴史           | 52.4 | 65.4 | 65.6 |
| 観点別 | 社会的な思考・判断・表現    | 65.2 | 72.2 | 69.0 |
|     | 観察・資料活用技能       | 64.6 | 74.3 | 69.2 |
|     | 社会的事象についての知識・理解 | 55.9 | 69.9 | 69.3 |

※参考値は、他自治体において同じ設問による調査を実施した際の正答率。



★指導の工夫と改善

○良好な状況が見られるもの ●課題が見られるもの

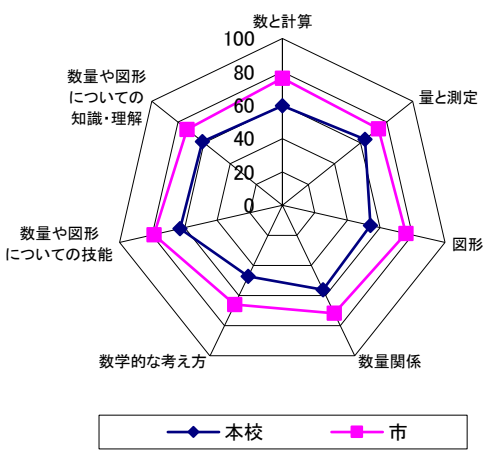
| 領域         | 本年度の状況                                                                                                                    | 今後の指導の重点                                                                                |
|------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------|
| 国土の様子      | ●日本の国土について理解しているかを問う問題では、正答率が33.3%で、市平均を25.5ポイント下回った。                                                                     | ・折に触れて話題に出し、繰り返し確認していくことで、基礎的な知識が確実に定着するように指導していきたい。                                    |
| 農業や水産業     | ○米作りの作業工程と作業を行う季節について理解しているかを問う問題では、正答率が60%で、市平均を0.7ポイント上回った。<br>●資料を読み取り考えて、表現することができるかを問う問題では、正答率が35%で、市平均を5.3ポイント下回った。 | ・資料から読み取った事実を書くことに難しさがあるため、教科横断的に資料を読み取る力を付けていく指導をしていきたい。                               |
| 工業生産       | ●優れた製品を生産するための工夫や努力について、資料を読み取って選ぶ問題では、正答率が90%で、市平均を0.5ポイント下回った。                                                          | ・与えられた資料を基に、論理的に思考する力の向上が必要であると考え。教科横断的に資料を読み取る力を付けていく指導をしていきたい。                        |
| 情報産業や情報化社会 | ●情報ネットワークの利便性について、資料を読み取り選ぶ問題では、正答率が76.7%で、市平均を1.9ポイント下回った。                                                               | ・選択肢の内容を正しく理解し、資料と照らし合わせる能力の向上が必要であると考え。そのために、まずは国語科で正しく文を読む力を身に付けさせることができるように指導していきたい。 |
| 日本の歴史      | ○条約改正について、資料を読み取り適切なものを選ぶ問題では、正答率が63.3%で、市平均を2.6ポイント上回った。<br>●縄文時代から江戸時代に関する設問は正答率が低い。                                    | ・縄文時代から江戸時代のころの出来事を忘れてしまっていたことから、もう一度大まかな時代の流れを復習させるとともに、重要人物達が行ったことを調べ直させることで知識の定着を図る。 |
|            |                                                                                                                           |                                                                                         |

宇都宮市立上河内東小学校 第6学年【算数】領域別／観点別正答率

★本年度の市と本校の状況

|     |                 | 本年度  |      |      |
|-----|-----------------|------|------|------|
|     |                 | 本校   | 市    | 参考値  |
| 領域別 | 数と計算            | 59.7 | 76.2 | 72.9 |
|     | 量と測定            | 63.3 | 73.6 | 70.6 |
|     | 図形              | 54.2 | 76.0 | 72.1 |
|     | 数量関係            | 56.1 | 71.8 | 66.9 |
|     |                 |      |      |      |
| 観点別 | 数学的な考え方         | 47.2 | 65.9 | 58.0 |
|     | 数量や図形についての技能    | 62.8 | 78.9 | 76.2 |
|     | 数量や図形についての知識・理解 | 61.4 | 73.1 | 70.4 |
|     |                 |      |      |      |

※参考値は、他自治体において同じ設問による調査を実施した際の正答率。



★指導の工夫と改善

○良好な状況が見られるもの ●課題が見られるもの

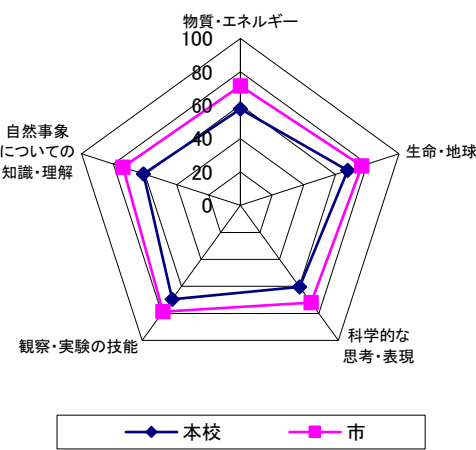
| 領域   | 本年度の状況                                                                                                            | 今後の指導の重点                                                           |
|------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|--------------------------------------------------------------------|
| 数と計算 | ●図を使って、小数のわり算の文章問題に合った式を選ぶ問題では、正答率が36.7%で、市平均を22.5ポイント下回った。                                                       | ・図を用いて考えたり説明したりする力を付けるため、数量関係を図で表す活動や図から読み取って式をつくる活動を積極的に取り入れる。    |
| 量と測定 | ●2人の作業の速さを比較し、判断の理由を説明する問題では、正答率が50%で、市平均を19.6ポイント下回った。                                                           | ・考えたことを文で表現することが苦手なようである。考えを文で書く授業を積極的に取り入れる。                      |
| 図形   | ●正六角形の作図方法から、正三角形の1つの内角の大きさと、正六角形の1つの内角の大きさを求める問題では、正答率が43.3%で、市平均を30.6ポイント下回った。                                  | ・図形の作図方法や、角の大きさを求める問題の復習を取り入れる。                                    |
| 数量関係 | ○文字を使った式が表す場面を選ぶ問題では、正答率が86.7%で、市平均を0.8ポイント上回った。<br>●反比例についての表を読み取り、表にあてはまる数を求める問題では、正答率が46.7%で、市平均を23.2ポイント下回った。 | ・反比例の性質についての知識の定着が不十分であったと考えられるため、確認するとともに、類似問題を解かせることで知識の定着を図りたい。 |
|      |                                                                                                                   |                                                                    |
|      |                                                                                                                   |                                                                    |

宇都宮市立上河内東小学校 第6学年【理科】領域別／観点別正答率

★本年度の市と本校の状況

|     |                | 本年度  |      |      |
|-----|----------------|------|------|------|
|     |                | 本校   | 市    | 参考値  |
| 領域別 | 物質・エネルギー       | 57.8 | 71.6 | 67.4 |
|     | 生命・地球          | 67.6 | 76.6 | 75.5 |
|     |                |      |      |      |
|     |                |      |      |      |
| 観点別 | 科学的な思考・表現      | 60.5 | 72.1 | 68.8 |
|     | 観察・実験の技能       | 69.6 | 78.7 | 76.3 |
|     | 自然事象についての知識・理解 | 61.0 | 73.9 | 71.5 |
|     |                |      |      |      |

※参考値は、他自治体において同じ設問による調査を実施した際の正答率。



★指導の工夫と改善

| 領域       | 本年度の状況                                                                                                                                            | 今後の指導の重点                                                                                                                                               |
|----------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 物質・エネルギー | ○電流の強さと電磁石のはたらきの関係を調べるためには、どの実験を比較すればよいかを選ぶ問題では、正答率が56.7%で、市平均を4.3ポイント上回った。<br>●鉄やアルミニウムは、うすい塩酸にとけることを理解しているかを問う問題では、正答率が36.7%で、市平均を24.2ポイント下回った。 | ○良好な状況が見られるもの ●課題が見られるもの<br>・実験を行うだけでなく、なぜそのような現象が起きたり、結果が出たりするのかについて自分で考える時間を確保し、しっかり考察がおこなえるようにしていきたい。<br>・内容により、プリント等を活用して復習を行い、知識の定着が図れるようにしていきたい。 |
| 生命・地球    | ○植物が取り入れた水のゆくえを、実験によって確かめることができるかを問う問題では、正答率が93.3%で、市平均を1.1ポイント上回った。<br>●だ液のはたらきを調べる実験の条件を修正する問題では、正答率が36.7%で、市平均を15.9ポイント下回った。                   | ・授業の中で、模型や映像資料を効果的に活用し、目に見えない現象等もよりイメージしやすくするように努めていきたい。<br>・日常生活の中で起きている現象に目を向けさせ、疑問に思ったことは質問したり、調べたりすることができるよう働きかけ、その知識が授業の中でも役立てられるようにしていきたい。       |
|          |                                                                                                                                                   |                                                                                                                                                        |
|          |                                                                                                                                                   |                                                                                                                                                        |
|          |                                                                                                                                                   |                                                                                                                                                        |
|          |                                                                                                                                                   |                                                                                                                                                        |

# 宇都宮市立上河内東小学校 学力向上に向けた学校全体での取組

## ★学校全体で、重点を置いて取り組んでいること

| 重点的な取組            | 取組の具体的な内容                                                                         | 取組に関わる調査結果                                                                                                                        |
|-------------------|-----------------------------------------------------------------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 授業におけるまとめ・振り返りの充実 | 授業の最後に、本時のまとめを行って全員で確認し、一人一人がめあてに合った振り返りを自分の言葉でノートに書く時間を設けている。                    | ・「授業で習ったことを、自分なりに分かりやすくノートにまとめている」に肯定的に回答した児童の割合は、1・2・4年生は96%以上だったが、3・6年生が80%、5年生は72%と学年によって差が大きく、高学年が市の平均を下回った。高学年の指導を継続する必要がある。 |
| 家庭学習の習慣化に向けた指導の工夫 | 学年に応じた家庭学習に取り組む目標時間を設定し、連絡帳等に家庭学習した時間を記録させて担任が確認する。学習内容や学習時間など、個に応じた指導を行うようにしている。 | ・「家で宿題をきちんとやり、期限までに提出している」に肯定的に回答した児童の割合は、6年生が73.3%で市の平均を17%下回った。1～5年生は、96%以上で市平均を上回っている。家庭学習が習慣化されていないことが定着度の低さの要因になっていると考えられる。  |

## ★国・県・市の結果を踏まえての次年度の方向性

|                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                  |
|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| <p>・学年により学力調査の結果に違いが見られ、平均との差も学年・教科により大きく違っている。学校全体として、漢字の読み書きや計算技能といった基礎的な内容が確実に定着していない傾向がある。市のアンケート結果から、高学年になるに従い「家で宿題をきちんとやり、期限までに提出している」に肯定的に回答した児童の割合が低いことが定着度の低さの一因として考えられる。低学年から家庭学習の習慣化に向けて指導を継続し、高学年ではさらに、自主的に学習に取り組む態度が育つよう、学年に応じた家庭学習を継続させるとともに、児童の取り組み状況を担任が確実に把握して個別指導を根気よく継続していくよう共通実践を図る。</p> <p>・次年度も、まとめや振り返りを行いながらノート指導を充実させ、自分の考えを分かりやすくノートにまとめる力の育成に努める。</p> |
|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|